

● 演習ワークシート

事例 1

症例：86 歳，男性

上腸間膜動脈塞栓症にて緊急で，小腸大量切除術 7 日目，バイタルサインは安定している。  
現在，右頸部より中心静脈カテーテルが挿入されているが，CRBSI (catheter-related bloodstream infection) が疑われ，血液培養を採取ののち，CV カテーテルを抜去する方針となった。最終の血中アルブミンは 2.3g/dL と低値であり，現在低残渣食をわずかに摂取している程度である。

OSCE 使命 1

適切な方法で静脈路を確保してください。